

Hondaは従来より、モーターサイクルのエントリーモデルとして、操る楽しさに触れるきっかけとなるような「レジャー系」と名付けたカテゴリーをラインアップし、常にその市場を牽引してきました。

国内では、1967年の「モンキーZ50M」発売に始まり、「ダックス」、近年では「エイプ」など、Hondaのレジャー系モーターサイクルは、常にその時代ごとの若者達のライフスタイルと共にある「遊び心にあふれた楽しく若々しいHonda」というブランドイメージの形成にも寄与しています。

レジャー系モーターサイクルカテゴリーの特徴としては―

- 乗る人の経験やライディングスキルなどを過度に問わない取り回し性のよい車体サイズ
- 乗る人だけでなく、乗らない人にも笑顔で振り向いてもらえるような親しみやすいデザイン
- クラッチ、ギアチェンジ、スロットル、ブレーキなど各操作は
大型モーターサイクルと同様とし、本格的なライディングの楽しさを味わえる

これらの要素に加えて、経済性が高く、扱いやすい特性のエンジンを搭載することでHondaのレジャー系モーターサイクルは多くの若者達にモーターサイクルの魅力を実体験する機会を提供してきました。

GROMの開発にあたっては、「新しい価値を常に提案し続ける遊び心あふれるHonda」のイメージにふさわしい商品を作り上げることが目的としました。

グローバルな視点で若者の価値観を調査した結果、若年層はアメリカンカジュアルを軸としたファッションだけでなく、ダンスミュージックやアクション系スポーツなどの遊びの面でも、世界共通のカルチャーを形成している事を確認しました。

この、「国境を越えたボーダーレスな若者カルチャー」という知見がGROM開発の出発点になりました。

開発コンセプトは―

Just Size & Showy Spec

ジャストサイズ&魅せるスペック

目指した特徴は―

- 見て ・親しみやすいサイズ感でアクティブなイメージと遊び心を感じさせる外観
・大型モーターサイクルを思わせる本格装備
- 乗って ・操る楽しさと、日常での扱いやすさの双方をそなえた運動性能
- 使って ・所有する喜びを感じさせ、オーナーの愛情を注げる趣味の対象

GROMが、遊び心にあふれた刺激的なミニバイクとして、広く世界中の「イマドキの若者達」の心を捉え、モーターサイクルの楽しみに触れていただく機会となることを願っています。